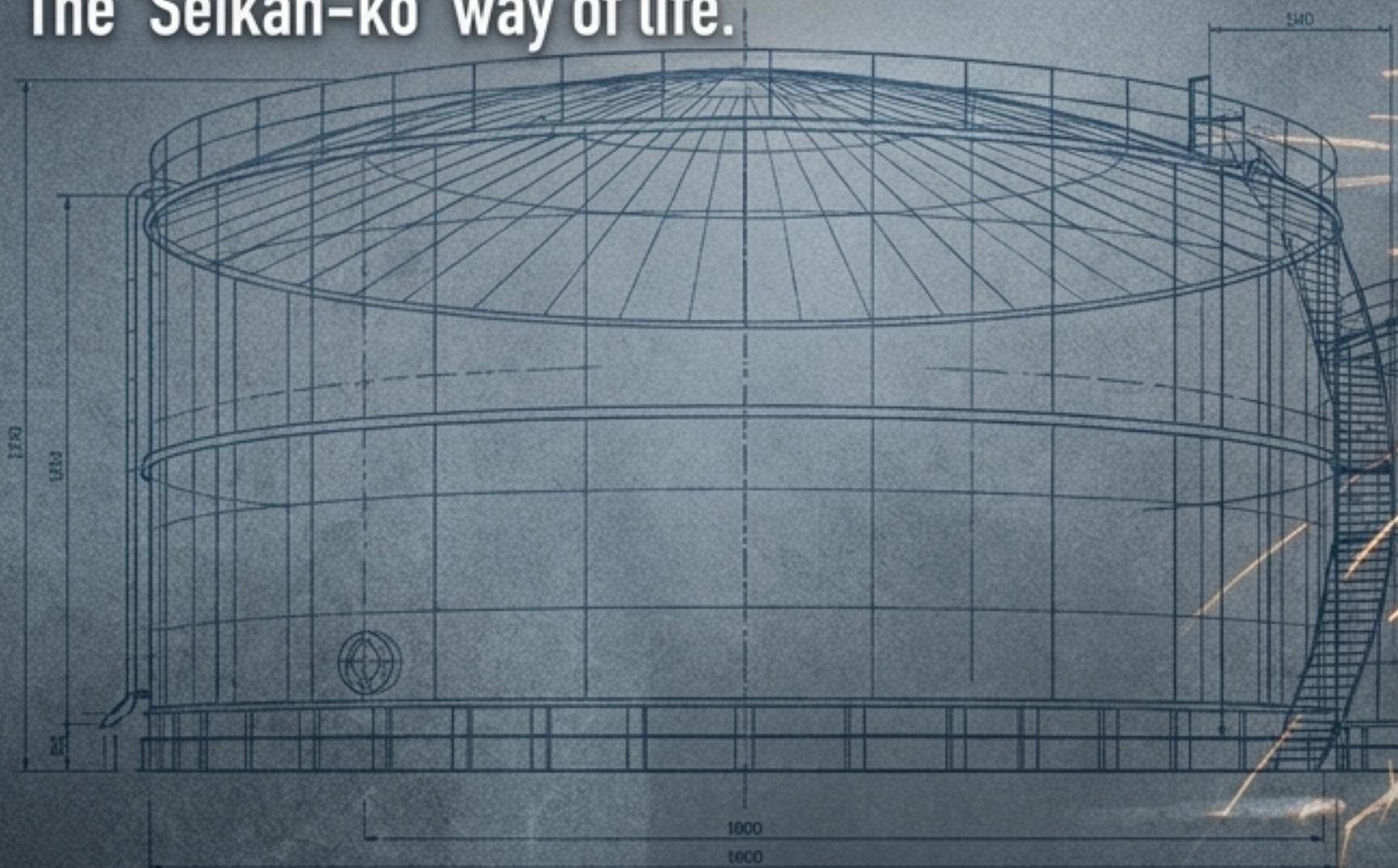


想像を超える、スケールを描け。

「製缶工」という生き方

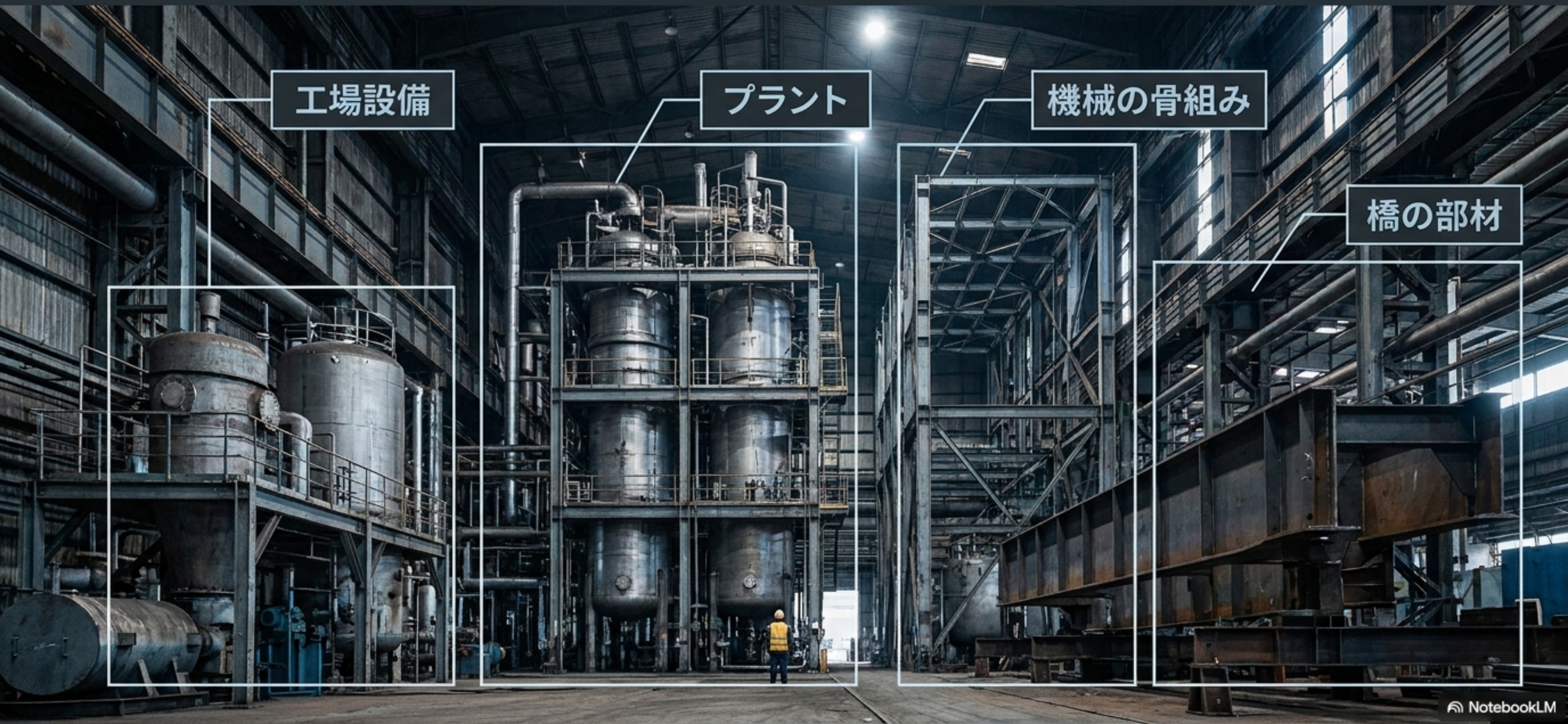
Draw a scale beyond your imagination.
The 'Seikan-ko' way of life.



「製缶」と聞いて、何を思い浮かべますか？



実際は、巨大な「鉄の建造物」を生み出す仕事です。



工場設備

プラント

機械の骨組み

橋の部材

ゼロから立体を造り出す、鉄のスペシャリスト



図面を読み解く

部材の寸法や形状を
確認する



切る・曲げる

鉄板や形鋼を切断・
穴あけ・曲げ加工

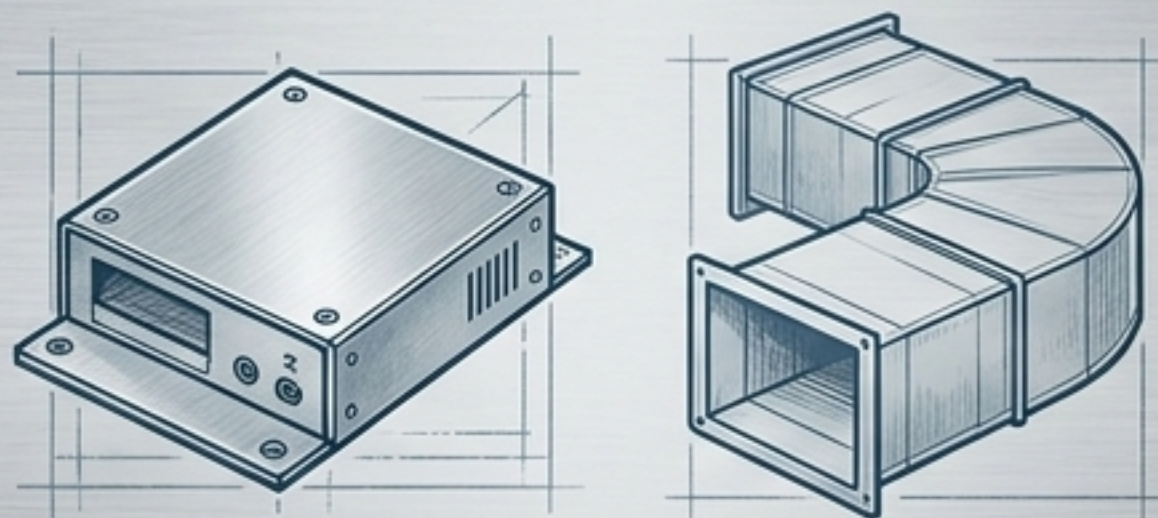


繋ぎ合わせる

仮組みから溶接で
しっかり一体化

板金工との違い：圧倒的な「スケールと強度」

板金工



材料：薄い板

特徴：小型・軽量

製缶工



材料：中厚板以上の鋼材

特徴：大型で強度の高い構造物

鉄がカタチになるまでの1日

8:30

午前

12:00

午後

夕方



朝礼・準備

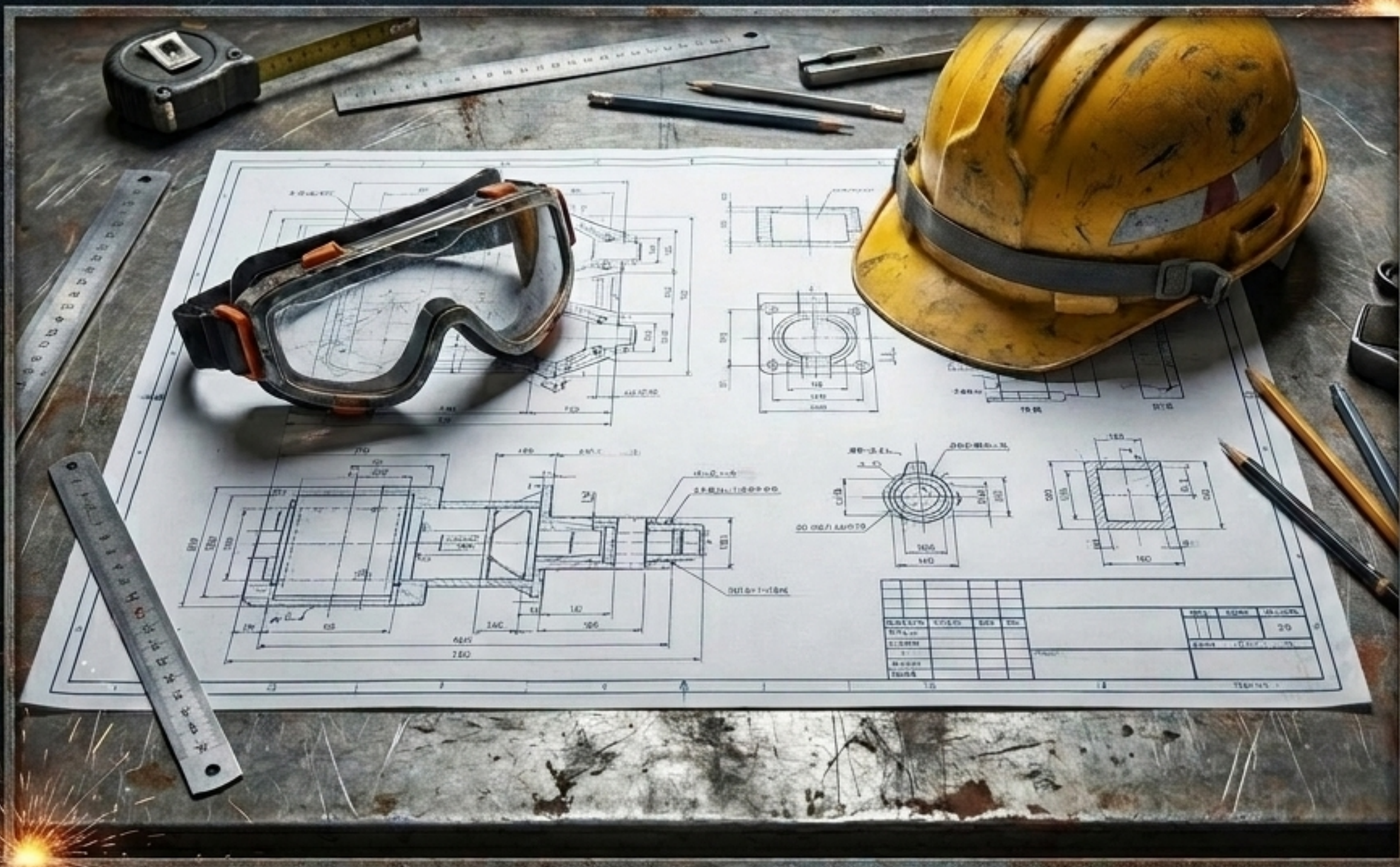
加工・仮組

昼休憩

本溶接・組立

仕上げ・検査

8:30 | 始まりは「図面」から



安全第一

ラジオ体操と安全上の
注意点を共有。

図面確認

着替え後、工具と
図面をチェック。

段取り

その日に作る製品の
段取りを決める。

午前 | 鉄を自在に操る (切断・曲げ)

ガス切断機やレーザーで正確に切る

ベンダーで狙い通りの角度に曲げる

午前 | 命を吹き込む「仮組」

部品同士を
立体に合わせる
「仮付け溶接」

「正しい寸法で、後工程が
やりやすいようにそろえる」
ことが重視される。



午後 | 強度を極める「本溶接」

高度な技術

半自動溶接、TIG溶接で完全に一体化させる。

熱との戦い

熱による「歪み」を見極め、必要に応じて矯正する職人技。

スケール

クレーンや玉掛けを使い、大型部材の位置を決める。

夕方 | 妥協なき「仕上げと検査」



仕上げ

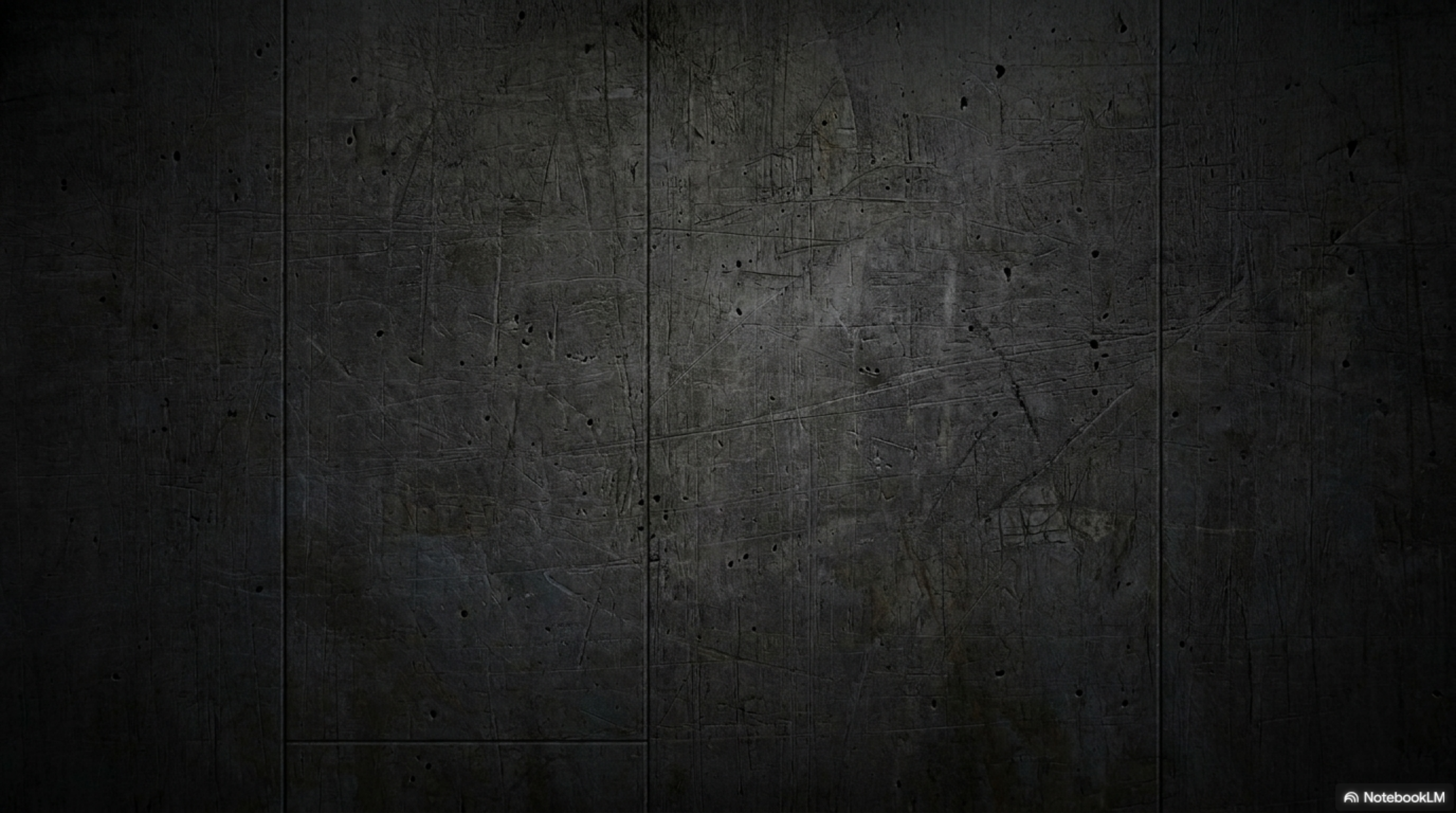
溶接ビードを削り、
見た目も完璧に仕上げる。

検査

寸法や直角度、外観を厳しく
確認し、不具合を修正。

明日へ

清掃、当日の作業報告、
明日の段取りをして退社。



製缶工という職種

✓ **巨大なモノづくり:**
飲料缶ではなく、想像を超える
スケールの建造物を造る。

✓ **社会を支える力:**
人々の生活インフラを根底から
守る「縁の下の力持ち」。

✓ **一生モノの技術:**
世界で通用する、
高度な溶接・組立スキル。

次は、この手で世界を創ろう。
まずはブースで、本物の「鉄の重み」を体感してください。